

三議第154号
令和5年1月30日

三島市長 豊岡 武士 様

三島市議会議長 川原 章 寛

議会報告会における市民からの要望について

三島市議会では、去る令和4年11月15日から12月8日にかけて動画配信方式による議会報告会を開催するほか、11月1日及び10日には市内団体等と、11月7日及び12日には市民と意見交換会形式での議会報告会を開催し、多くの意見をいただきました。

つきましては、三島市議会議会報告会実施要綱第11条第3項の規定に基づき、行政に対する要望、提言のうち重要なものとして、下記の3件について対応を求めますので、回答をお願いします。

なお、本件についての回答は議会ホームページに掲載する予定です。

記

- 1 新庁舎の整備に際しては、アクセス性や中心市街地の活性化に配慮した立地とし、サテライト機能の強化や自治体DXを推進するとともに、人口減少等を想定したコンパクトな規模とし、多様性や柔軟性に十分配慮すること。
- 2 認知症高齢者数は、2025年には約700万人に達することが見込まれており、誰もが関わる可能性のある身近なものとなっている。認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことのできるよう、本市の取り組む姿勢を広く内外に示すとともに、各種団体・地域等との連携を強化し、認知症の人やその家族の視点に立った環境の整備や取組の強化を図ること。また、不安を感じる市民が気兼ねなく利用できる相談窓口体制を構築すること。
- 3 中心市街地の活性化に向け、まちなかりノベーション推進計画が策定され、今後、様々なスモールスタート事業の実践が期待されるが、大学のある街として学生の力を活かすことが必要と考える。よって、市内在住・在学の学生にも企画段階から参画してもらい、若者の意見、要望を反映させた事業を推進できるよう、市としても必要な周知や支援等を行うこと。